



山本木質ペレットストーブ

時期終了時の点検と掃除方法

(型式:BPS-903Z、BPS-903)

株式会社山本製作所
環境事業部

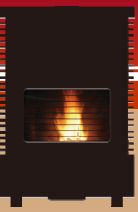


点検項目

翌シーズンに向けた、掃除方法です。

1. 燃料タンクやスクリュウに残ったペレットを取り除きます。 / 3～4ページ
2. 排気筒を掃除します。 / 5ページ
3. 燃焼部を掃除します。 / 6ページ

※安全運転と正常な機能を維持するために、2シーズンに1回は、お買い上げの販売店様に点検を依頼してください。



1. 燃料タンクやスクリュウに残ったペレットを取り除きます。

- 1) 燃料タンクに残ったペレット燃料を、スコップ等を使用して取り除いてください。



取り除く際、残量センサーを傷つけないよう、注意して下さい。

※取り除ける範囲で結構です。



1. 燃料タンクやスクリューに残ったペレットを取り除きます。

2) スクリューに残ったペレット燃料を取り除いてください。

- ① クリーニングの「01」モードで、スクリューに残ったペレット燃料を排出できます。(※操作方法は取扱説明書の29ページを参照して下さい)
- ② 排出されたペレット燃料は、ロストル上にたまります。
- ③ ホウキなどを使用し、灰受け皿に落とします。
- ④ 燃料タンクが空になったことを確認します。

ペレット燃料が粉っぽい場合は、掃除機等で粉を吸い取ることをおすすめします。





1. 燃料タンクやスクリーンに残ったペレットを取り除きます。

3) 灰受け皿には、燃焼灰と未燃のペレット燃料が混在していますが、全て廃棄してください。

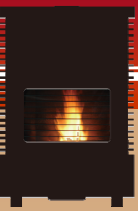


廃棄



※ペレット燃料を取り除かないまま翌シーズンを迎えますと、ペレット燃料が湿気を含んでおが粉に戻り、搬送系トラブルの原因となります。

※ペレット燃料が粉っぽい場合は、掃除機等で粉を吸い取ることをおすすめします。



2. 排気筒を掃除します。

1) 排気筒を外してください。



①
フックを押す



②
少しずつ
回しながら
外す。



2) 排気筒内部をブラシ等で掃除します。



掃除ブラシで内部を「ゴシゴシ」

黒い灰が出ます。



先端をビニール袋
等で覆い、湿気が入
らないようにします。





3. 燃焼部を掃除します。

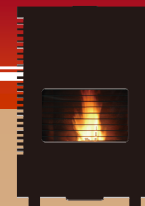
- 1) 点火前の掃除同様、ヒーターに付着した不純物を、ブラシ等できれいに取り除いてください。



- 2) ロストルの穴に灰が詰まっていないか確認し、念入りに掃除してください。



※ヒーターの掃除をしないと、
不着火の原因となります。



3. 燃焼部を掃除します。

3) 熱交換部の掃除をして下さい。



掃除棒

4) ロストル下部の掃除をして下さい。



※掃除棒がスムーズに動くことを、確認してください。

スムーズに動かない場合は、変形している可能性があります。

変形した状態でお使いになりますと、安定した燃焼ができない場合があります。